



修大 Shudai Hyakkei 百景



修大池

桜や藤の木など、季節によってさまざまな顔をみせる修大池は、四季折々に変わりゆく景観を楽しみながら休憩ができる憩いの場所です。

1988年に修大池周辺に整備されたウッドデッキや遊歩道は、近年老朽化が進んだことで安全面での改修が必要となり、2018年度に、本学後援会による特別事業で大幅改修が行われました。池を囲む遊歩道の整備や、ベンチ修繕のほか、池底の杭の撤去などを行い、今日の姿となりました。完成後の池周辺では、学生同士が昼食を囲む姿などが見られます。

また、本学卒業生で構成される修経会が、大学の景観や環境向上に寄与することを目的とした「修経の森プロジェクト」では、毎年学位授与式前後に池の周りに桜や梅などの植樹を行っています。



Truth

バックナンバーはこちら >>>



広島修道大学公式SNS >>>



X (旧 Twitter)
@shudo_u



YouTube
@shudo_university



Instagram
@shudo_university



Facebook
@HiroshimaShudoUniversity



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



大学基準協会
大学評価 認定マーク

Truth

もっと知りたい、広島修道大学

Hiroshima Shudo University

Vol.

226

Spring-Summer
2024



広島修道大学



本学初の試みとして、2024年度新入生オリエンテーション・ガイダンスで、レクリエーションを実施しました。この取り組みは、新入生がレクリエーションを通じて学友との交流を深め、本学における学生生活を円滑に始められるようになることを目的としています。実施したグループワークの一つである「修大オロチ」は、ひらがなの50音が書かれたカードを使用し、15分以内にできるだけ多くの単語を作り、しりとりでつなぐ活動です。初対面同士の4名が1グループとなり、交流を深めながら協力して取り組みました。

このレクリエーションは、在学生12名と教職員5名のプロジェクトメンバーが企画・運営し、実現しました。在学生メンバーの岡野大樹さんは、入学当時、コロナ禍で新入生同士のつながりが持ちにくかったことを振り返り、「高校時代をコロナ禍で過ごした新入生には、楽しいキャンパスライフを送ってほしい」と話しました。



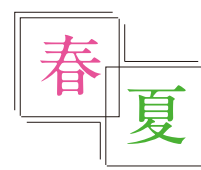
詳しくはこちら



おかの だいき
岡野 大樹さん
国際コミュニティ学部
地域行政学科 4 年



Gallery



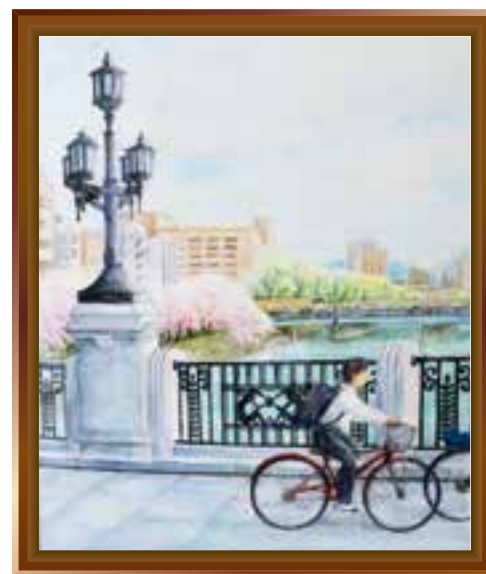
広島のエントランスの再開発が進んでいます。広島駅北口は既に刷新され、南口は2025年春に大きく生まれ変わる予定です。路面電車が駅前大橋を渡り駅ビルに直接乗り入れる新しい風景を楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか。

その駅前大橋の東に猿猴橋という橋があります。最初に木造の橋として架けられたのは毛利輝元の時代と言われています。その後1926(大正15)年に金物飾りの美しい鉄筋コンクリートの橋に架け替えられ、昭和の始めまで駅前の賑わいを彩るシンボリックな橋となりました。戦争中の金属回収でその華麗な姿が失われましたが、原爆の被害にも耐え、平成の時代まで市民の大切な生活道路となっていました。その橋を大正時代のデザインに復元する活動が2000年代の後半に起こります。その活動には修道学園出身者も多く関わっていました(参考『猿猴橋復元物語／山を動かす』南々社)。そして復元された現在の猿猴橋が2016(平成28)年に完成し、広島の昔と今をつなげる個性的な橋として存在感を放っています。

変わる街の風景に寂しさを覚える人もあるかもしれません。街は常に進化しており、街の姿に完成形はないとよく言われます。変わることを受け入れながらも「広島らしさ」のある街であることが大切だと感じています。

人にも完成形はありません。学生の皆さんも、一人ひとりの個性や歴史を大切にしながら、よりよい自分へと変化を続けてください。

や の いずみ
学長 矢野 泉



しゅんぷう
春風
作 矢野 泉

CONTENTS

- 2 SHUnDAI 旬な修大
- 4 特集 | 広島にいきる修大
進化する広島を探究する
- 10 未来への探求
前田 星 准教授 法学部
- 12 修大人の飛翔 -活躍する卒業生
沖本 春樹 さん 被爆体験伝承者
- 14 修大人 -在学生紹介
山下 桃佳 さん 健康科学部心理学科4年
- 15 海外留学記
山田 愛理 さん
国際コミュニティ学部国際政治学科4年
- 16 サークルインフォメーション
サークルニュース／ピックアップサークル／
広報スタッフインタビュー
- 18 Shudo×SDGs
生成AIを使って被災地へ必要な支援を考える
- 19 2024年度入学式
- 20 Campus News
- 22 INFORMATION
- 28 修大百景
修大池

特集

広島にいきる
修大

進化する 広島を探究する

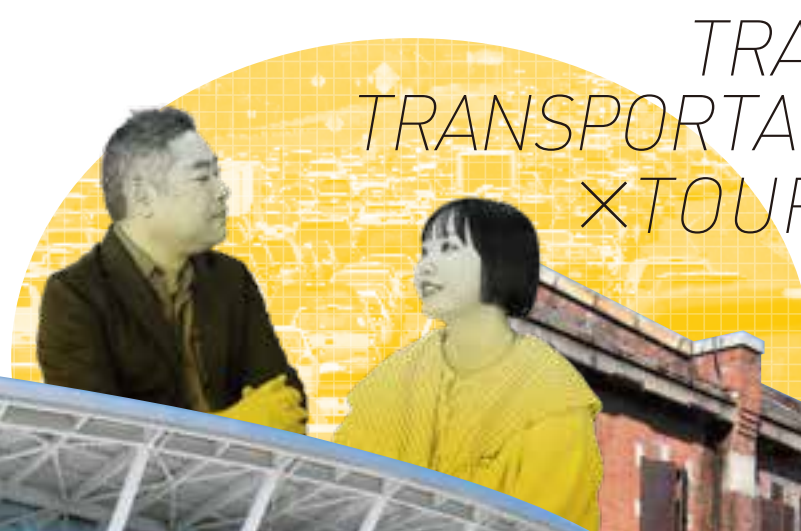
地元経済界の要請を受け開学して以来、広島とともにいきる広島修道大学。

コロナ禍が収束し再興する広島の進化を、さまざまな切り口で探究します。

LANGUAGE
COMMUNICATION
× TOURISM



TRAFFIC
TRANSPORTATION
× TOURISM

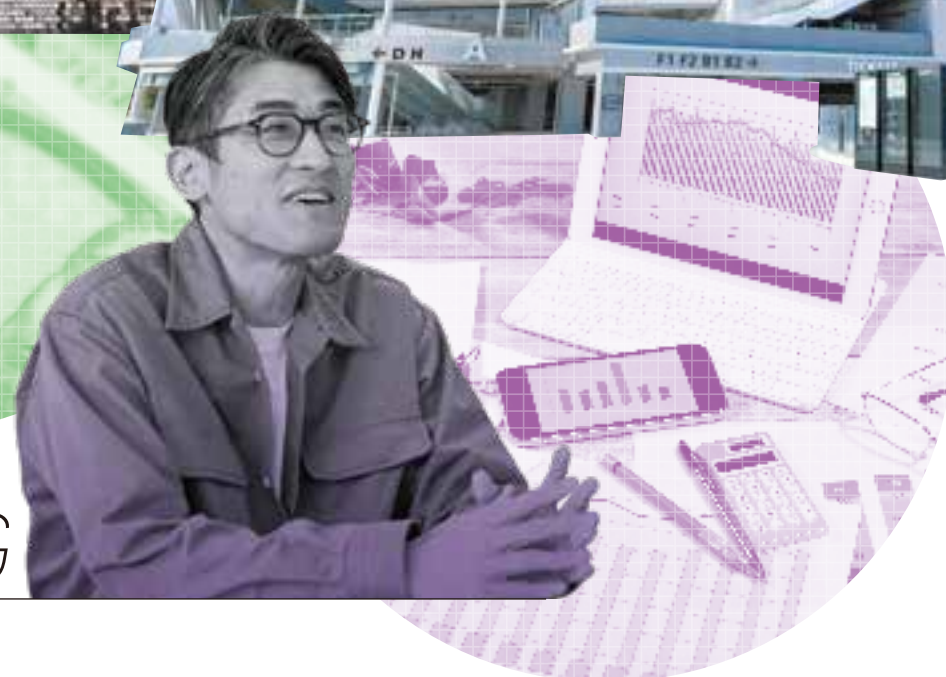


TOURISM



ECONOMICS

MARKETING



EDION
PEACE
WING
HIROSHIMA

COMMUNITY DEVELOPMENT



TOPICS



エディオンピースウイング広島に
広島修道大学の看板を掲出

今シーズンからサンフレッチェ広島の新本拠地となったエディオンピースウイング広島に、広島修道大学の看板を設置しています。観戦の際には、バックスタンド側中央付近をぜひご覧ください。

新サッカースタジアムから考える、広島の変化とは？

新サッカースタジアム「エディオンピースウイング広島」が広島市内中心部に移転した

ことによる広島の変化について、4名の教員がさまざまな学術的視点で解説します。

観光まちづくりで大切なこと

観光



かわせ まさき
川瀬 正樹 教授
商学部

観光まちづくりでは、「訪れる人にとっても住んでいる人にとっても良いまちである」ことが大切です。オーバーツーリズム*になってしまえば、住民の生活は破壊されてしまいます。新サッカースタジアムを望んでいたのは一部の広島県民やサンフレッチェサポーターですが、近隣住民は騒音などへの懸念から現在地への建設に反対していました。住民の立場に立てば、その懸念もよくわかります。そこを、どう折り合いをつけていくかが大切です。

私の専門である地理学では、「立地」の良し悪しを常に考えます。サンフレッチェが当初希望していた旧広島市民球場跡地は、原爆ドームの世界遺産登録が抹消さ

れる懸念だけでなく、立地面からもベストとは言えません。広島電鉄の電停と広島バスセンターからは近いですが、そこに観客が殺到してしまうと深刻な交通問題を引き起こします。現在地であれば駅、電停、バスセンターから徒歩でアクセス可能なため、観客が分散し、交通問題をそれほど心配する必要はありません。しかも、市内繁華街へも徒歩で行けるため、市街地活性化にもつながります。

新スタジアムにあるキャプテン翼の壁画には感動しました。サッカーを通して平和の大切さを世界に発信するためにも、ぜひ、新スタジアムでより多くの国際試合を開催してほしいものです。

*観光地にキャパシティ以上の観光客が押し寄せること

経済

広島県への経済効果

もたらす

新スタジアムが



しんたく こうじ
新宅 公志 准教授
経済科学部

新スタジアムは、広島県の企業・住民の所得をどれだけ増やすでしょうか？ 飲食需要を切り口に、私が研究するサプライチェーン*の観点で考えてみましょう。

新スタジアムでの試合後に飲食店に立ち寄る県内外の観客が増えるでしょう。飲食店は食材を仕入れたり、設備を借りるので、他の産業の生産も増えます。これで発生する県内の企業・住民の年間所得を下表の通り試算できます。

県内客の飲食が所得増へ貢献する4.5億円は見せかけかもしれません。県内客は

観戦後の飲食でお金を使う分、他の県内イベントでお金を使わなくなる可能性があるからです。

しかし、この県内客貢献分4.5億円増にも重要な意味があります。これらの多くは広島市の繁華街で発生し、中心市街地のにぎわいの創出に貢献します。広島県がより多くの若者に選ばれ、転出超過解消にもつながるようになるうえで重要なことです。

上記の経済効果を通して、広島県がより活気のある地域になることを期待しています。

*製品の原材料・部品の調達から販売に至るまでの一連のプロセス

	県内客の所得への貢献	県外客の所得への貢献	合計
旧スタジアム	2.0億円	0.7億円	2.6億円
新スタジアム	6.4億円	1.4億円	7.9億円
所得の増加分	4.5億円	0.8億円	5.2億円

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳と合計が不一致

まちづくり

地域(面)の価値・魅力の創造へ



きはら いちろう
木原 一郎 准教授
国際コミュニティ学部

私は主に紙屋町・八丁堀地区を対象に「エリアマネジメント」という手法について実践的に研究しています。

都心部全体を俯瞰した時に、まちなかスタジアムは都心部の回遊性を高めることにつながるため、とても重要な開発でした。現在、複数の再開発が進む都心部では今後も質の高い目的地・居場所・新たな活動(点)が創出され、日常の行動選択肢が増える予定です。さらに、試合日には、都心部や横川からスタジアムに向けて人の流れ(線)ができます。野球に比べて試合数が少ないと言われますが、受け皿を作るために投資が必要な郊外地域ではなく都心部の立地なので、さまざまな効果

が期待でき即効性は高いと思います。

これからの広島都心部には点と線をつなぎ、地域(面)の日常的・恒常的な価値や魅力につなげる変化が必要です。最短最速の動線整備や単発の経済効果につながるだけでなく、試合後の余韻に浸れるような移動・空間・体験などの都市環境デザイン、活動と活動をつなぐさまざまな形の場づくりや地域コミュニケーションデザインが必要であると考えます。この変化を市民・民間主導で実現させる手法の一つがエリアマネジメントです。真の意味での「みんなで作るサッカースタジアム」になることを期待しています。

顧客志向が徹底された公設スタジアム

マーケティング



まつお ようじ
松尾 洋治 教授
商学部

私の専門分野はマーケティングです。ビジネスの世界では「売れる仕組み(仕掛け)」としてのマーケティングが必要だと言われます。なぜか。製品やサービス売るという行為自体が不確実性にまみれ、売れる保証がないからです。そこでターゲットの居場所や行動を分析し、彼らに合った仕掛けを用意するなど、販売確率を高める努力が必要になります。

エディオンピースウイング広島は顧客目線で整備されており、マーケティング的な発想が詰まったスタジアムだと言えます。従来利用していたスタジアムには「交通アクセスが良くない」「スタンドからピッ

チまでの距離が長く、臨場感がない」「スタンドを覆う屋根がなく、観戦が天候に左右されやすい」といった集客上の課題がありました。顧客の不満は要望の裏返し。新スタジアムがこれらの要望に応えようとするものであることは明白でしょう。さらにスタジアム内を回遊できるループ状コンコースの採用やバラエティーに富む客席を用意するなど、サポーターや観戦者の目線で設計されています。公設スタジアムであるにもかかわらず顧客志向が徹底されているところが興味深く、スポーツの盛んな広島だからこそ可能なのかもしれません。

たちばな ようすけ
橘 洋介 教授
商学部



おおたに ねね
大谷 寧々 さん
商学部
商学科 4 年



ゼミで交通課題が 社会に与える 影響について研究

日常のあらゆる場面に入り込んで
いる交通について研究する橘ゼミ
では、交通を切り口とした社会へ
のアプローチや、交通課題が社会
に与える影響について研究してい
ます。広島を訪れる観光客にもや
さしい交通の姿について、「陸の
玄関口」である広島駅の再開発を
題材に、橘先生とゼミ生の大谷
さんに語っていただきます！

観光客にやさしいまちづくりと交通について

橘 大谷さんは、現在ゼミでどんなことを研究
していますか？

大谷 過疎地に住む高齢者がどのような移動
手段を利用しているかについて研究してい
ます。

橘 過疎地での主な公共交通機関はバスです
よね。

大谷 はい。そのため、公共交通機関のなかで
もバスに特化して研究しています。バスの交
通課題として、JRなどの公共交通機関に比
べて、バスの時刻表や路線図がわかりづら
いことが挙げられます。地元が県外にある
私も、広島に来てから不安に感じるものが
ありました。

橘 見ず知らずの街を訪れる人にとって、公共
交通機関の中でも特にバスを利用するハード
ルはとても高いですね。例えば、MOBIRY*
のようなデジタルチケットが普及することで
利用するハードルが下がらと思うのですが、

大谷 支払いの不安がなくなるのはストレス

軽減になると思います。また、時刻表・乗り
場がスマホを見て一括でわかるサービスや、
往復チケットとセットになった観光プランの
パッケージがあると、お出かけしようという
気持ちになります。

橘 公共交通機関のハード面を整えるとな
る、インフラ整備に時間もお金もかかります
が、デジタルチケットの普及やスマホアプリな
どのソフト面を整えることで、観光のポテン
シャルも上がりますね。

大谷 現在、広島「陸の玄関口」である広島駅
の再開発も進んでいると思います。駅ビル2
階に路面電車が高架で乗り入れるようになり
ますが、その影響についてどう思われますか？

橘 駅前空間が狭いです。バスと路面電車
の乗り場が同じ空間に存在することで、バス
停があちこちに分散されているのが課題
ですが、路面電車が2階に上がることで、バス
停が一カ所に集約できます。利便性が高
まることで、新たな観光資源へのアクセスも

期待できますね。

大谷 行きたいと思う場所があっても、目的
地までの公共交通機関のルートなど調べるこ
とが多いと、面倒に感じてしまい目的地を
変えてしまうこともあります。広島駅の再開
発で、路面電車やバスに乗りやすくなること
で、観光地・街なかのスポット・お店などへ
行きたいという意欲が高まると思います。

橘 今はお店も観光要素になる時代です。な
かにはお店が住宅地にあるケースも増えて
います。そのような場合、二次交通（空港や
ターミナル駅から観光目的地まで行くため
の交通手段）がいつも課題になります。広島
の観光のポテンシャルをあげるために、さま
ざまな場所へのアクセスを広げ、観光客にも
やさしい街へと変化させる必要があります
ね。広島駅の再開発をはじめとした、公共交
通機関の利便性の向上に期待しています。

*MOBIRY…インターネットでチケットが購入でき、スマート
フォンを乗務員に見せるだけで、乗り降りできるデジタルチ
ケット

広島と訪日外国人をつなぐ

Hiroshima Tour Guide Program

2年次に通訳演習Ⅰ（入門）を履修し、さらに通訳のレベ
ルを上げたいと思い、実践的な英語を通訳ガイドの方に指
導していただけるこのプログラムに参加しました。

プログラムでは2グループに分かれて行動し、私のグ
ループは、初日に平和記念公園を訪問しました。現地で、プ
ロのツアーガイドの方から英語でのガイドを聴講した後、
他の参加者に向けて、実際に英語でのガイド実演を行いま
した。2日目はシュモアハウス・旧広島陸軍被服支廠・宮島
を訪問し、初日と同じくガイド実演や、参加者同士での質
疑応答を英語で行いました。

実際に実演してみると、「どう英語で伝えたら良いか」と
いう点にばかり気を取られ、目的である「ガイド（案内）」が
疎かになっていました。英語でのガイドには、語学力や文
法の知識だけではなく、相手の目を見るなど伝え方の工夫
も必要と実感しました。普段から英語に限らず日本語でも、

どうすれば人に伝わりやすい表現になるかを意識してコ
ミュニケーションをとっていきたいと思いました。

今後は、プログラムで学んだ内容を、現在履修している通
訳コースでの学びに生かしていきたいと考えています。国際
平和文化都市である広島市の平和
記念公園のことや、観光資源につ
いて伝えていけたらと思います。

なかの あつこ
中野 温子 さん
人文学部
英語英文学科 3 年



学生たち

宮島観光活性化プロジェクト ～観光と言語がつなぐ地域の輪～

地域つながるプロジェクト活動期間：2022年度・2023年度

日英対照言語学という言語学の学問を学んでおり、授業で学ん
だことを地元である廿日市市の活性化のために生かしたいと思いプ
ロジェクトに参加しました。

活動拠点として、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている
宮島の中江町を選びました。古風な街並みが魅力的な地域ですが、
宮島のシンボルである赤い大鳥居や海に浮かぶ厳島神社ほど知名度

が高くないことを課題
としています。そこで、中
江町を宮島の第3の観
光地として活性化させ
ることを目標とした活
動に取り組みました。



作成したフリーペーパーの一部 ▲

2022年度に行ったアンケート調査で、宮島に来る9割の外国人
観光客が「日本語で観光をしたい」と感じている結果を受け、言語学
の側面から、外国人観光客の満足度向上をめざしました。具体的
には、「英語圏以外の外国人観光客にいかんして宮島の情報を伝える
か」に着目し、「やさしい日本語」を用いたフリーペーパーを作成し
配布しました。さらに、中江町で開催される各種イベントの企画・運
営にも携わり、観光と言語の両面から中江町の活性化をめざす活動
ができたと思います。

こうた なおし
後藤 直志 さん
人文学部
英語英文学科 4 年



未来への探求

法制史学としての

魔女研究

法学部 准教授
まえ だ ほし
前田 星

北海道大学大学院法学研究科
法学政治学専攻博士後期課程修了
博士(法学)

専門分野
基礎法学・法制史
主要研究テーマ

17世紀ドイツの魔女裁判手続および刑事法理論

ヨーロッパ近世史と「法」

私の研究の目的を一言で表すと、「16、17世紀(近世)において、大学で法学を修めた知的エリート(「学識法曹」)たちがどれくらい社会に影響を与えたのか」となります。「法」は私たちの日常生活を陰に日向に規定していますが、法体系全体が大きく変わることもあります。ヨーロッパの歴史においてそれは、15～17世紀に起こりました。11世紀末以来研究されていた古代ローマ法学が発展し、古く新しい「ローマ法」が15世紀(中世末期)以降、ドイツにも強い影響を及ぼすようになります。法の変更は、それを運用する側にも混乱をもたらしました。新しい法をどう使

“ 法制史学は、一般的な歴史学とも法学とも少し異なる特別な景色を見せてくれます。 ”

魔女裁判を遂行する学識法曹たち

「魔女狩り」と呼ばれる出来事をご存知でしょうか。16、17世紀に、ヨーロッパ全体で4万人を超える人々(2割程度は男性)が「魔女」として処刑されました。ヨーロッパの魔女狩りの

特殊性は、それが「裁判」という形を取ったことにあります。当時魔女であることは「犯罪」であり、魔女狩りは裁判制度を活用しながら遂行されたのです。魔女裁判というと「不正な裁判」という印象は強いようですが、実際には当時の訴訟法や、あるいは刑事法学の基準がきちんと意識されていました(拷問の利用も、合法的証拠獲得法の一つでした)。「ローマ法」の影響を受けていた当時の裁判を正しく遂行するためには、高い法学の素養が必要とされました。学識法曹たちは、魔女裁判という新しい社会問題に直面し、その中で、魔女裁判に関する法学的論文や意見書を残したのでした。

例えば、当時の学説の中に、「特別な犯罪に

対しては、特別なやり方で対応すべきだ」という考え(例外犯罪論)があります。魔女は非常に危険で重大な犯罪だと見なされていたので、この理論に基づいて、拷問は他の犯罪以上に過酷になりました。ただし、特別扱いそのものは認めても、「どこまで特別扱いできるか」という点で論者毎に違いがありました。例えば、「未成年でも証人になり得る」という意見は同じでも、ある人は「14歳以上」、別の人は「9歳以上」という具合です。彼らは自分が学んだ理論を用いて、魔女裁判をどう扱うべきかを検討し、それに基づいて行動をしていきました。その結果、一部の学識法曹たちは魔女裁判の大規模化に加担してしまうのですが、それもまた近世に彼らが残した足跡のひとつと言えます。

法制史から見える景色

法学方面からも付言しておきましょう。その後、近代的な刑事法では宗教的な犯罪が非犯罪化したり、刑罰の目的の変化に伴って過酷な刑や拷問が廃止されたり、例外犯罪論が否定されたりしました。このような主張をしたある著名な刑事法学者は、同じ文章の中で魔女裁判を痛烈に批判しています。やや大げさな物言いですが、魔女裁判の経験と批判が、近代的刑事法の根底となったと言えないでしょうか。近代刑事法が生まれた背景を知ることには、刑事法学の根本理念を理解することにつながるでしょう。

法制史学というのは、歴史学と法学の二つの側面を持ちます(実はこれらは少し相性が良くないのですが)。法制史学は、それを覗いた人に、一般的な歴史学とも法学とも少し異なる特別な景色を見せてくれます。

詳しくはこちら▶



修大人の飛翔

活躍する卒業生 GRADUATES MESSAGE Vol.50

学科の学びと留学

大学時代の思い出は2つあります。1つは国際政治学科での学びが大好きだったことです。講義が楽しくて卒業所要単位を満たした後も履修科目を増やし、4年生ではゼミを2つ掛け持ちし卒業論文を2つとも完成させるほど、学びに没頭していました。もう1つは、ニュージーランド・クライストチャーチへの短期語学留学です。アルバイト代を貯めて費用を準備した甲斐あって、6週間の留学では異文化を肌で感じながら、語学力もかなり向上しました。15年経った今でもホストファミリーとは連絡を取り合う中で、新婚旅行でも彼らの家に泊めてもらいました。

ドイツ・ベルリンでの転機

妻とドイツ・ベルリンを旅行し、戦争遺構を巡るツアーに参加したことが大きな転機でした。そのツアーでは自分より少し若いガイドの方が、当時の様子を一生懸命に説明していました。その姿を見て、「いま私は戦争について学ぶためにベルリンに来ているけれど、一方であの原爆の事を詳しく知らない。広島を学びに来た人達に、自分からは何一つ8月6日の事を伝えてあげることができない」と痛感し、心に引っ掛かっていました。そのため、被爆体験伝承者*養成事業の存在を知った際には、居ても立っても居られない気持ちで応募しました。

2年間の研修期間

被爆体験伝承者の研修期間は概ね2年間で、要しました。私は当時6歳で被爆された梶矢文昭さんの証言を伝承する事となり、研修を通じて直接お話を何度も伺いま

した。直接は見えていない惨状を目に浮かべつつ、あの日の記憶に思いを馳せながら、原稿を丁寧に書き上げていきました。研修時は転勤で栃木に在住しており、幾度も広島に出向いて研修を受けるのは大変でしたが、約1万字の原稿を基に計3回の講話実習を行い、全てが広島市から認定された際には達成感がありました。

被爆者の思いを伝える

私は、2023年12月に初めて被爆体験伝承者として講話をしました。講話の数日前から何度も練習をくり返し、また質問に備えて学び直すことを心掛けています。遠方から資料館にお越しになった方にとって、生涯で1度きりの被爆体験伝承講話かもしれないと思うと準備は疎かにはできません。

伝承者として私は、「自分事として捉えて伝える」ことを意識しています。私が語り継いでいく梶矢さんは、当時6歳だったあの日、街中が燃え上がりそこら中で断末魔の叫びが響く中、地獄のような広島を1人で必死に逃げ延びて助かった方です。その惨状を私が自分事として受け止めて伝える事で、きっと梶矢さんの思いは聞いている方に届くのではないかと考えています。

被爆体験伝承者としてのこれから

私は伝承者としての活動を通じて「ヒロシマ」について深く理解できていなかったことに改めて気付かされました。広島で起きたあの日の惨状は決して忘れて良いはずがありません。だからこそ、広島で育った者として、小学生の頃から何度も聞いてきた被爆者の方々の思いを、今度は私が伝えていく番だと心に決めています。

今はまだ活動を始めたばかりですが、今後は梶矢さんから受け継いだ講話を英語に翻訳して、海外から広島に来て下さった方々に伝えていきたいと思っています。きっと広島修道大学の国際政治学科で4年間「世界に目を向ける大切さ」を学んだ経験が、今度は私に「英語でヒロシマの事を伝えなきゃ」と諭しているのだと思います。

修大生へメッセージ

学生時代を振り返ってみると、大学で学んだ全てが今の私の糧になっています。英語と国際感覚を磨いた事で今の仕事につながり、海外駐在も経験しました。また、学生時代に学んだ国際政治と近現代史への関心は年を重ねても増すばかりで、それが被爆体験伝承者へと導いてくれました。人生は一度きりです。「点だと思っていた経験が、後で振り返るとつながっている」というのは有名な話。どうか悩んだ時は、思い切って新たな経験に挑戦することをお勧めします。

私のターニングポイント

修大で沢山の素晴らしい教授や仲間に出会えた事です。俯瞰して私を諭してくれる教授や、国際政治を真剣に語り合う、常に明るく熱い親友など。まさしく「出会いが成長の種」です。



▲恩師の矢田部先生、ゼミの友人と(写真左:沖本さん)

*被爆体験伝承者…
概ね2年間の研修の中で、被爆体験証言者から被爆体験や平和への思いを受け継ぎ、それを語る活動。被爆者の高齢化が進む中、被爆体験を語り継ぐために広島市が平成24年度から養成を始め、平成27年度から活動を開始しています。

詳しくは
こちら



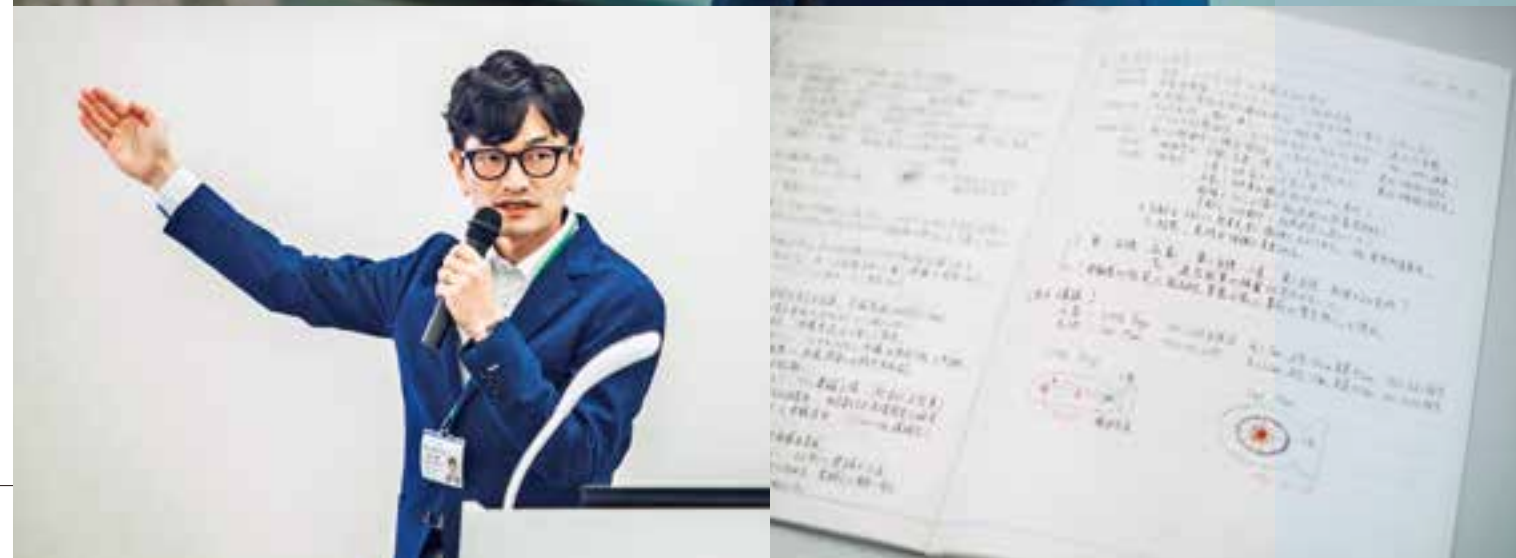
被爆者の思いを受け継ぎ、
自分事として捉え、伝える。

被爆体験伝承者
おきもと はる き
沖本 春樹 さん

広島修道大学 法学部 国際政治学科*

2011年3月卒業

*現在の国際コミュニティ学部国際政治学科



修 大 人

在学生
紹介
Vol.58

やました ももか
山下 桃佳 さん

健康科学部 心理学科 4 年
名古屋市立名東高校出身

広島修道大学同窓会の支援金を活用し、発達障がいを知るための「VR体験会」を企画、実施

二つ返事で始まった挑戦

「みんなでVR体験！発達障害を知ろう！」という企画は、心理学科の先生から「広島修道大学学生チャレンジ支援金」*の制度について教わり、「やってみないか」と誘われた際に、二つ返事で引き受けたことから始まりました。実施するなら意義のある企画にしたいという思いが一番にあり、心理学科の友人や先生と、「発達障がいの認知を高める」というテーマで何度もミーティングを重ね、どのようなイベントが適切かを検討し企画を立案していきました。

発達障がいを伝える難しさ

私は心理学科で発達障がいについて学んでいます。「発達障がい」という言葉は近年、社会的な認知が高まっていますが、その具体的な特性や困難さについて十分に理解している人はまだ多くありません。発達障がいは個人差が大きく、明確な線引きが難しい性質を持っています。

発達障がい(特に自閉スペクトラム症)の特性の1つに、光がまぶしく見え、音が大きく聞こえるなどの感覚過敏があります。この感覚は周りの人からの理解が得られにくく、偏見や支援のつながりにくさが問題となっています。この感覚過敏という特徴を、VR(バーチャルリアリティ)で疑似的に体験することのできる企画として、「みんなでVR体験！発達障害を知ろう！」と題した体験会を3日間かけて行い、計22名の方に参加していただきました。

発達障がいを正しく伝えるには

この企画では発達障がいに対する偏見を持ち込まず、参加者へ誤った情報が伝わらないよう細心の注意を払いました。そのために、発達障がいに関する学会に参加したり、参考書を熟読したりと、今一度発達障がいについて時間をかけて学びました。目に見えない特性や困難さは、言葉や絵での説明が難しく、VR機器で経験できる感覚過敏も、特性の一つに過ぎないため、参加者へ広い視野で学んでもら

えるよう配慮し、ディスカッションの時間を設けて情報の修正や共有が行えるよう工夫しました。

学ぶことから広がった世界

心理学科で学んだ基礎心理学や臨床心理学などはこの企画で大いに役立ちました。そして改めて心理学の奥深さや学ぶべきことの多さを感じ、勉強がより楽しくなりました。また、VR体験会は多くの方からの反響をいただき、チャレンジ支援金制度を活用して挑戦したことに満足しています。企画の実行にあたり不安もありましたが、全力で取り組み体験会を終えた後は、その不安が些細なものであったと感じています。

VR体験会を終えて

チームの皆さん、先生、同窓会の方々、学生センターの方などからの多くの支援をいただき、また参加してくださった方々のおかげで、VR体験会を成功させることができ、深く感謝しております。イベントの企画・運営を通して、やればできるという自信を持つことができました。これからも挑戦を続け、苦しい時でも諦めず、常に周囲に感謝する心を忘れないようにしたいと思います。

*広島修道大学学生チャレンジ支援金…広島修道大学同窓会による学生活動の支援制度。さまざまなことにチャレンジする学生を金銭面で支援する。応募し、採択されたプロジェクトに対し上限10万円を支給する。



海外留学記

Journal of Study Abroad

やまだ あいり
山田 愛理 さん 国際コミュニティ学部 国際政治学科 4 年 山口県立岩国総合高校出身

留学先



ニュージーランド・
ニュージーランド国立工科大学・Ara

留学期間

2023年8月～12月

ニュージーランド国立工科大学・Araに留学した理由

国際政治学科の授業でニュージーランドの文化や歴史を学ぶ機会があり、担当教員から現地に住んだ体験談や日本とは違う政治の制度や取り組みなどを細かく聞く中で、興味関心を持ちました。留学先であるクライストチャーチが、自然豊かで色々な景色を楽しめる点も理由の一つです。留学前は、自分の英語力を考えると海外に住むなんて到底できないと思っていましたが、英語でのコミュニケーションに対する苦手意識をなくすことも期待して、参加を決意しました。

留学に参加する時に立てた目標は、新しいことにたくさんチャレンジして全力で楽しむことです。英語力の向上や異文化理解だけではなく、初めての留学は幸せな思い出にしたいという想いがありました。



クライストチャーチにある山の頂上から ▲

事前に準備したこと

留学前は、留学費用の面と現地の生活が自分に合うのかの2点が心配でした。留学費用は、大学の国際交流スカラーシップ奨学金や、学外の奨学金制度を利用しました。現地の生活は、YouTubeやインターネットで情報を検索し、自分の住む場所から大学までのルートなどをイメージできるようにしました。こういった支援や準備により、かなり心が軽い状態で留学に臨むことができました。

留学生活で感じたこと

現地の生活では、とにかく自由を感じました。バスの中でギターを弾く人がいたり、日本では感じられない空気感はとても新鮮で楽しい気持ちにさせてくれました。

また、気の持ち方の若い人が多いと感じました。例えば、80歳

くらいの私のホストマザーは、週に2回ジムに行くほど健康的で、毎晩一緒にドラマや映画を観たり、週末には片道1時間半かかる街まで連れて行ってくださったり、本当にパワフルで素敵な方でした。このような人にたくさん出会えたことで、歳を重ねていく楽しさや美しさを知ることができました。また、大学はさまざまな国から学生が集まっており、インドやネパール、イランなど普段知り合う機会の少ない国の人たちと交流できたことはとても良い経験になりました。



クラスメイトと学期末にパーティーを開催 ▲

留学で得たもの

現地の授業では英会話が印象に残っています。英語の文法を英語で学ぶのはとても面白く、アウトプットする機会も授業内で多くありました。留学を通して、簡単な英語だけでも十分にコミュニケーションを取っていけるということを学べたのは自身にとって大きく、誰と会話するのも怖くなりました。英語を話す楽しさを実感することができたことも財産です。

現在は毎日英語を聴く時間を作るようにしています。今後は、学内の授業や国際交流の機会をさらに活用して英語を上達させ、ヨーロッパを一周したいです。また、TOEIC800点以上といった資格取得にも挑戦したいです。

留学と聞くと色々な不安があるかもしれませんが。私はそうでした。ですが、ほんの少し勇気を出して一歩を踏み出してみると、そこには私の知らない面白い世界がありました。失敗もありましたが、留学という選択自体を後悔したことはありません。これからも一生あの時の私の選択は良かったと言える自信があります。知らない世界を覗くことほど人生を豊かにしてくれることはないと思います。私もまだまだたくさん知らない世界があるので、これからも飛び込んでいきます！皆さんと一緒に飛び込んでいきましょう！Make your life wonderful!!!

知らない世界を覗くことが人生を豊かにしてくれる

Ara Institute of Canterbury



NEWS

ダンスサークル

BUZZ STYLE FINAL(ストリートダンス全国大会)に出場

2023年に行われた「BUZZ STYLE CONTEST VOL.18 中四国予選」2位の結果により、3月3日に行われた大学生・大学院生・専門学生限定のストリートダンスの全国大会「BUZZ STYLE FINAL」に出場しました。



詳しくはこちら >>>

陸上競技部

五月が丘小学校で陸上指導会を実施

2月9日、本学近隣の五月が丘小学校において陸上指導会を実施しました。これは、「広島市Doスポーツ体育指導者招へい事業」に基づく小学校からの依頼に応じて行っているもので、2002年から始まり今回で20回目となります。



詳しくはこちら >>>

PICK UP



ラクロス部女子

中国・四国リーグでNo. 1のチームに

私たちは中四国制覇を目標とし、日々練習に取り組んでいます。人数が少ないチームではありますが、その分、部員同士の絆は深く、一人一人が活躍する力をつけるために日々努力しています。また、ラクロスを通じて、学内だけではなく、他大学や社会人チームの方と積極的に交流を深めています。昨年のリーグ戦では一部リーグに残留することはできませんでしたが、final 4に進出することができず、悔しい結果となりました。今年は目標である中四国制覇を達成するためにfinal 4に進出し、昨年の無念を晴らしたいです。応援よろしくお願いします。



会計学研究会

資格取得が自分の成長につながる

会計学とは簡潔に言えば会社のお金の動きを図やグラフを用いて分析する学問分野です。その中でも特に簿記について学んでいます。公認会計士・税理士をめざす部員や、大学生になってから簿記の勉強を始めた部員などさまざまな人が、日々共に勉強しています。またお互いの知識を深めるためのグループワークも行っています。資格取得をめざす以外にも、大学祭での屋台の出店や局長杯(サークル対抗のスポーツ大会)といった本学の行事への参加など、さまざまなイベントを通して部員同士の交流を図っています。今後も楽しむ時は楽しみ、勉強するときは勉強する。切り替えを大切にしながら、サークル活動を行っていこうと考えています。

INTERVIEW

学長賞 受賞
団体

軟式野球部 計 27 名

2023年広島六大学学生軟式野球リーグ戦(4月8日～6月10日)において優勝し、全国大会の出場権を獲得。第46回全日本学生軟式野球選手権大会(8月26日～8月29日)において準優勝。

第35回(2023年度)学長賞を受賞した軟式野球部主将の江平さんに 広報スタッフがインタビューしました！

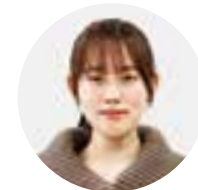
Interviewee

えひら じゅき
江平 寿綺 さん
経済科学部
経済情報学科 4 年



Interviewer

かとう るな
加藤 瑠菜 さん
国際コミュニティ学部
地域行政学科 3 年



加藤 この度は学長賞受賞おめでとうございます！受賞の気持ちをお聞かせください。

江平 素直に嬉しいです。昨年は学長奨励賞を頂いていたので、今年はそれを超える学長賞を目標の一つにして活動をしていました。

加藤 軟式野球部としての成績だけでなく、学長賞も意識していたのですね。

江平 はい。全国大会に出場して成績を残したら、きっと受賞できると思い、めざしていました。

加藤 リーグ戦で優勝して全国大会への出場が決定した時の気持ちを教えてください。

江平 肩の荷が下りたという感じです。リーグ戦が長く、2カ月間切羽詰まった期間が続いたので、嬉しいというより、やっとひと段落区切りがついたなという気持ちでした。

加藤 特に記憶に残るプレーはありますか？

江平 4番の大浜が、逆転のスリーランを打ってそのまま勝てた試合が印象深いですね。チームに勢いがついて、そのままリーグ優勝まで勝ち進むことができました。また、全国大会ではエースの安部が連投にもかかわらず、疲れを見せずチームを引っ張ってくれました。

加藤 チームの強みや特長を教えてください。



▲全国大会を決めた試合での集合写真

江平 メンバーの仲の良さですかね。人間関係がよくて、一回もチームが分裂することがなかったです。また、学生主体で練習メニューを考え、自主運営しているところも強みだと思います。

加藤 代表を務めていた1年間で印象に残った事を教えてください。

江平 全国大会出場が決まった瞬間。みんなでもみくちゃになった時です。全国大会では決勝で負けましたが、悔しいというより、やり切ったという感じでした。

加藤 学業との両立で気を付けたことがあれば教えてください。

江平 けじめはつけるように意識していました。当たり前ですが、テスト前は練習よりも勉強を優先するように声掛けをしていました。

加藤 団体の部での受賞とのことですが、チームのメンバーに向けて何かありますか？

江平 メンバー全員の協力があったので受賞だったと思います。指示を出す前に練習メニューを提案してくれるなど、先輩後輩関係なくサポートがありとても助かりました。後輩たちには、全国大会優勝、学長賞受賞をめざして頑張ってもらいたいです。

加藤 ありがとうございました。今後の軟式野球部のご活躍を応援しています。

江平 ありがとうございました。



▲エースの安部さん

Shudo × SDGs

広島修道大学は、SDGs を目標とするのではなく、1つの手段としてその先につながっていく私たちの「望ましい未来」へアプローチしていきます。

生成AIを使って 被災地へ必要な支援を考える

1月16日、「教養講義(情報環境論)」において、生成AIを使い、災害に必要な支援を考える授業を行いました。授業では、どんなものが被災地域の避難生活において必要か、キーワード(プロトコル)を考えることによって生成AIを利用することを体験しました。

生成AIの利用は、私たちが考えているよりも多くの情報やアイデアを提供してくれるなどの理由から、さまざまな場面で利用への期待が高まっており、利用する機会も増えてくることが想定されています。授業では、利便性や汎用性のみならず、危険性やその特性にも触れた上で、「避難に必要な支援を考える」をテーマとし、実際にどのような支援が求められているか、生成AIと「対話」しました。当初は、「検索」するように利用していましたが、生成AIの特性の1つである「対話」を意識させることで、学生らしさのある質問文(プロンプト)を作成する様子が見られました。



授業終了後は、生成AIの回答に加えて、学生が考える被災地への支援物資を任意で募りました。その結果、学生十数名からタオル、乾電池、ビニール袋など、実用的な支援物資が集まりました。この支援物資は、授業担当の阿濱教授が被災地の災害支援に役立てました。

この活動を通して、学生は具体的な支援物資についてイメージが描けたようです。学生の感想として、「被災地への支援は、お金の寄付やボランティア活動だと思っていたが、生成AIに尋ねてみると支援物資の寄付などでもできることに気づけた」「実際の避難生活が想像できなかったので、生成AIに聞いてみて必要なものがわかった」などがありました。

このたびの令和6年能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を願っております。

PICK UP



広島修道大学の臨床心理相談センターでは、能登半島地震被災に伴い、広島市およびその近隣地域へ避難してこられた被災された方を対象に、心理相談・心理支援を行っています。

期間は2024年2月5日から6カ月間を予定しており、費用は無料です。

詳しくはこちら >>>



Congratulations!



バスケットボールや
広報関係のサークルに
入ってみたい！



サークルに入って
友達をたくさん作って、
4年間を
一生に残る思い出にしたい！



ずっと入りたいと思っていた
学部に入れたので、
たくさん経験を積んで
充実した4年間を過ごしたい！



学部やサークルの仲間と
関わりながら
将来の自分のやりたいことを
見つけたい！



サークルと勉強の両立を頑張って
大学生活を楽しみたい！



授業以外にも
ボランティア活動してみたい！
友達作りを頑張りたい！



2024年度入学式

2024年4月2日、2024年度入学式を実施いたしました。
学部・大学院あわせて1552名の新入生が
これから始まる学生生活に期待と不安を抱き、式典に臨んでいました。



学位授与式を挙行（3/19）

2023年度学位授与式が本学体育館にて挙行され、学部・大学院総計1,370名に学位記が授与された。式では、矢野学長より告辞があり、続いて学校法人修道学園 林正夫理事長をはじめ、ご来賓の皆さまより祝辞をいただいた。また、卒業生代表として商学部商学科の岩田佳吾さんより、感謝の言葉と抱負が述べられた。式典の様子はインターネットを通じてライブ配信もされ、卒業生とご家族を含む、多くの方にご覧いただき、和やかに式を終えた。



UNIVAS AWARDS2023-24『KEIアドバンス賞』において優秀賞を受賞（3/11）

本学の取り組みである「サークル研修会」が、運動部学生に対する学修支援における先進的な取り組み事例を表彰するUNIVAS AWARDS2023-24『KEIアドバンス賞「学習支援に関する優秀取り組み」』において優秀賞を受賞。本研修会では、新しく幹部になる学生と顧問などが、円滑にサークル運営ができるよう支援。本学の特徴として、体育系・文化系サークルおよび学友会に所属する学生、サークル顧問の教職員などと、多種多様な参加者を対象に、毎年テーマを変えて実施している点が評価された。



地域つながるプロジェクト・地域つながるスタートアッププロジェクト2023活動報告会を開催（2/16）

「地域つながるプロジェクト」と「地域つながるスタートアッププロジェクト」の計14プロジェクトが2023年度の活動を報告した。報告会には、プロジェクトの連携先や学生の活動を支援いただいた地域の方々、本学学生・教職員など約210名が参加。学生たちは地域課題の解決などに向けた活動内容の紹介や、活動を通しての気づき、今後の意気込みなどを発表し、最優秀賞には、「宮島観光活性化プロジェクト～観光と言語がつなぐ地域の輪～」が選ばれた。



通訳研究の第一人者であるダニエル・ジル氏の講演会を実施（4/4）

ソルボンヌ大学の名誉教授であり、会議通訳者であると同時に、1980年代から現在まで通訳研究分野を牽引し続けているダニエル・ジル氏による講演会を、人文学部英語英文学科で春の特別企画として実施した。講演は参加者よりあらかじめ募った質問を基に構成され、ジル氏が通訳者となった経緯や言語理解と通訳の認知的仕組みなど、幅広くお話しいただいた。講演会終了後も、参加者がジル氏を囲み、歓談の様子が見られた。



合同企業説明会2025を開催（2/19～22）

中国地方を中心に企業・団体約320社をお招きし、合同企業説明会を開催した。延べ1,670名の学生が参加し、卒業後の進路選択に向け積極的に企業ブースを訪れた。



人文学部英語英文学科の動画コンテスト表彰式を開催（3/7）

人文学部英語英文学科の学びを活用する取り組みとして、動画コンテストを開催。テーマは「学内のお気に入りスポット紹介」で、優秀作品が2件、最優秀作品が1件選ばれ、表彰状と賞金の授与が行われた。



一人暮らしの新入生交流会を開催（4/5）

一人暮らしを始める新入生同士の交流の輪を広げ、大学生活をスムーズにスタートしてもらうことを目的に開催。110名の新入生が参加した。先輩学生から学生生活のアドバイスや、一人暮らしでの生活の工夫、体験談などを聞き、交流を深めた。



広島市西区役所と連携協定締結（3/1）

本学と広島市西区役所は、これまで醸成してきた連携・協力関係をさらに発展させ、相互の人材、知識、情報などを活用し、地域の発展に役立てることを目的として、「包括的連携協力に関する協定書」を締結した。



学生チャレンジ支援金報告会2023を開催（3/11）

学生の挑戦に対し金銭面で支援をする制度「広島修道大学学生チャレンジ支援金」*2の活動報告会を開催。初の試みとなった2023年度は、3つのプロジェクトが採択され活動。報告会では、活動内容やその経験から得られた学びを発表した。



協定校アリゾナ州立大学のGlobal Launchから職員2名が来学（4/15）

本学の最も歴史の古い協定校のひとつであるアリゾナ州立大学のGlobal Launch*3からJohn Deal氏とErin McCloskey氏が来学。学生によるキャンパスツアーの後、アリゾナ州立大学で留学生として学ぶ魅力などについてのプレゼンテーションを聞き、質疑応答も行った。



グローバルコース修了式を実施（3/7）

グローバルコース*1第7期生（2020年度入学生）の修了式を実施。第7期生は、留学の1年延期など、新型コロナウイルスの影響を受けたが、2分間スピーチでは前向きな所感を述べた。修了式後は懇親会が行われた。



学内総合案内所を設置（4/1・3・4）

新入生ガイダンス期間中、学内案内や学生生活のアドバイスを行うことを目的に学内総合案内所を開設。9名の在学生在が新入生サポートガイドスタッフとして活動した。案内所を開設した3日間で、新入生からは130件の問い合わせがあった。



就活スタートガイダンスを開催（4/16～18）

早期化する就職活動への対応として、学生が早くから将来について考え、準備できるようになることを目的に、就活スタートガイダンスを開催。学部3年生だけでなく1・2年生にも参加することを勧め、3日間で654名の学生が参加した。



*1 2014年度から始まり、第7期生をもってコースは終了。 *2 P14を参照 *3 英語プログラムやボランティア活動・就業体験などを留学生に提供する大学付属の語学部門。

INFORMATION

2023年度 退職教職員の紹介

教員	商学部 教授 川原 直毅 (かわはら なおき)	人文学部 留学生教育担当契約教員（講師） 藤 美帆 (とう みほ)	法学部 教授 居石 正和 (おりいし まさかず)	法学部 教授 鈴木 正彦 (すずき まさひこ)	法学部 助教 柳迫 周平 (やなせこ しゅうへい)
	法学部 学部契約教員（教授） 中富 公一 (なかとみ こういち)	法学部 外国語契約教員（講師） WILSON, Timothy J. (ウイルソン ティモシー ジョン)	経済科学部 教授 張 南 (ちよう なん)	経済科学部 准教授 黒阪 健吾 (くろさか けんご)	経済科学部 外国語契約教員（講師） 廣野 允紀 (ひろの まさき)
	人間環境学部 外国語契約教員（講師） 光森 幸子 (みつもり さちこ)	健康科学部 学部契約教員（教授） 藤井 文子 (ふじい ふみこ)	健康科学部 助教 木本 晶子 (きもと あきこ)	健康科学部 助手（助教） 渡邊 雄一 (わたなべ ゆういち)	国際コミュニティ学部 教授 伊藤 敏安 (いとう としやす)

職員	監査室 室長 種田 奈美枝 (たねだ なみえ)	人事課 課長補佐 田中 祥美 (たなか よしみ)	人事課 書記 原田 侑季 (はらだ ゆき)	総務課 第Ⅰ種契約職員 草間 百合子 (くさま ゆりこ)	総務課 第Ⅰ種契約職員 福井 美加 (ふくい みか)
	経理課 課長 平松 博美 (ひらまつ ひろみ)	財務課 第Ⅰ種契約職員 谷岡 恵美子 (たにおか えみこ)	総合企画課 課長 青木 千代美 (あおき ちよみ)	学生センター 次長 平岡 健 (ひらおか たけし)	学生課 第Ⅰ種契約職員 竹本 果代 (たけもと かよ)
	教務第1課 専門職員 櫻井 学 (さくらい まなぶ)	教務第2課 第Ⅰ種契約職員 岡村 春奈 (おかむら はるな)	教務第2課 第Ⅰ種契約職員 國島 友子 (くにしま ともこ)	教務第2課 第Ⅰ種契約職員 和田 麻加 (わだ あさか)	教務第2課 第Ⅲ種契約職員 猪股 陽子 (いのまた ようこ)
	教務第2課 第Ⅲ種契約職員 森本 祐太 (もりもと ゆうた)	キャリア支援課 第Ⅰ種契約職員 内海 晶子 (うつみ あきこ)	キャリア支援課 第Ⅰ種契約職員 八百村 朋子 (やおむら ともこ)	図書課 第Ⅰ種契約職員 大橋 広恵 (おおはし ひろえ)	図書課 第Ⅰ種契約職員 辰崎 裕美子 (たつざき ゆみこ)
	ひろしま未来協創センター 参事（専門職員） 佐伯 美栄子 (さいき みえこ)	ひろしま未来協創センター 第Ⅰ種契約職員 友田 早紀 (ともた さき)	入学課 主事 呑村 智美 (のみむら ともみ)	国際センター 参事（専門職員） 入江 みどり (いりえ みどり)	国際センター 課長 吉川 明美 (よしかわ あけみ)
	学習支援センター 学習アドバイザー 斎藤 佳子 (さいとう よしこ)	学習支援センター 学習アドバイザー 谷岡 亮 (たにおかりょう)			

2024年度 新任教職員の紹介

教員	商学部 助教 巖 秀延 (げん しょうえん)	人文学部 教授 伊藤 泰郎 (いとう たいろう)	人文学部 准教授 仁井田 典子 (にいた のりこ)	人文学部 留学生教育担当契約教員（講師） 山根 祥子 (やまね しょうこ)	法学部 教授 片上 孝洋 (かたかみ たかひろ)
	法学部 教授 三阪 佳弘 (みさか よしひろ)	法学部 助教 森 啓悟 (もり けいご)	法学部 学部契約教員（助教） 譚 天陽 (たん てんよう)	法学部 外国語契約教員（講師） PANTER, Sage M. (パーンタ セイジ)	経済科学部 准教授 田中 藍子 (たなか あいこ)
	人間環境学部 助教 長谷川 尚弘 (はせがわ なおひろ)	人間環境学部 外国語契約教員（講師） ダイクス 久美子 (だいくす くみこ)	健康科学部 助教 齋藤 亜利沙 (さいとう ありさ)	健康科学部 学部契約教員（教授） 岡本 洋子 (おかもと ようこ)	健康科学部 助手（助教） 山本 沙也加 (やまもと さやか)
	健康科学部 助手（助手） 井上 凜 (いのうえ りん)	国際コミュニティ学部 准教授 山中 雄次 (やまなか ゆうじ)			

職員	人事課 書記 石田 生真 (いしだい いくま)	財務課 書記 垣元 貴文 (かきもと たかふみ)	総合企画課 主事 河野 宏史 (こうの ひろし)	学生課 書記 沖西 美沙 (おきに し みさ)	教務第2課 書記 氏平 穂乃花 (うじひら ほのか)
	教務第2課 書記 若田 春菜 (わかだ はるな)	教務第3課 主事 岩崎 匠 (いわさき しょう)	教務第3課 書記 桑内 美佳 (くわうち みか)	ひろしま未来協創センター 主事 金子 友和 (かねこ ともかず)	総務課 第Ⅰ種契約職員 幾田 理奈 (いくた りな)
	教務第1課 第Ⅰ種契約職員 塩谷 麻菜 (しおたに まな)	教務第2課 第Ⅲ種契約職員 吉川 茜 (きっかわ あかね)	教務第2課 第Ⅰ種契約職員 金銅 美香 (こんどう みか)	教務第2課 第Ⅰ種契約職員 永見 有記美 (ながみ ゆきみ)	総合企画課 第Ⅰ種契約職員 中村 和也 (なかむら かずや)
	図書課 第Ⅰ種契約職員 小野田 佳美 (おのだ よしみ)	ひろしま未来協創センター 第Ⅰ種契約職員 岸 彩加 (きし あやか)	学習支援センター 学習アドバイザー 藤田 香織 (ふじた かおり)		

名誉教授の称号を授与

2023年度に退職された以下の2名へ、本学での長年の功績に
対して名誉教授の称号が授与されました。



商学部教授
川原 直毅
(かわはら なおき)



経済科学部教授
張 南
(ちよう なん)

※所属、職位は2023年度時点。

学長表彰受賞者決定

2023年度学長表彰受賞者が決定し、学長賞団体3団体、個人
11名、学長奨励賞団体5団体、個人23名が受賞しました。学長表
彰は、本学の学生または団体が、学術・芸術・社会・文化活動など
の分野において他の模範となり、本人または団体並びに本学の栄
誉になるものを表彰する制度です。

なお、本学では課外活動スカラシップ制度を設けており、学業、
人物ともに優れ、特に文化・体育などの活動に顕著な実績をあげ

た者(対象・学長賞受賞者)に奨学金を支給していま
す(金額は団体30万円、個人10万円)。

受賞者については本学WEBサイトでご確認ください。



資格取得学生表彰者決定

2023年度資格取得学生表彰者が決定し、優秀賞22名、努力賞
37名が受賞しました。資格取得学生表彰は、本学学生の国家資格
などの取得を奨励するために設けられた制度です。また、本学では
資格取得スカラシップ制度も設けており、本学学生
で学業、人物ともに優れ、特に難易度の高い資格を
取得した者について奨学金を支給しています。



2024年度 特別客員教授

2024年度、特別客員教授14名が決定しました。(順不同)

市原 則之 氏	(公財)日本オリンピック委員会名誉委員 (一社)日本トップリーグ連携機構専務理事 (公社)日本ダンススポーツ連盟副会長 (公財)日本ハンドボール協会顧問 (学)広島山陽学園理事長 元日本オリンピック委員会副会長兼専務理事
田口 信教 氏	鹿屋体育大学名誉教授 ミュンヘンオリンピック競技大会水泳金メダリスト 医療創生大学常務理事
吉田 隆行 氏	坂町町長
山本 孝昭 氏	(株)ドリーム・アーツ代表取締役社長
山崎 良子 氏	学校法人駿河台学園理事長
福岡 誠志 氏	三次市長
三島 豊 氏	三島食品株式会社代表取締役会長
山本 明弘 氏	広島市信用組合理事長 全国信用協同組合連合会会長
森信 秀樹 氏	森信建設(株)代表取締役 広島経済同友会特別幹事
細川 匡 氏	デリカウイング(株)取締役会長 株式会社FMIはつかいち 代表取締役社長 廿日市商工会議所 名誉会頭
三上 知佐 氏	国連ユニタール広島事務所長
見延 典子 氏	作家 公益財団法人頼山陽記念文化財団理事 公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財 団評議員 公益財団法人広島市文化財団評議員 JOIN(移住・定住推進機構)大使
上田 宗岡 氏	茶道上田宗箇流 家元 (公財)上田流和風堂理事長
AZIMI, Nassrine 氏	グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ代表者

INFORMATION

ご寄附いただきました方々へ、心より御礼申し上げます。（敬称略） 受領期間 2023年4月～2024年3月

新体育館建設事業寄附金 寄附総額 ￥17,492,181			
荒滝 龍馬	株式会社紀伊屋書店	修経会	西谷 信子
アンザイ株式会社	株式会社合同総研	修友会	日本海修大会
池岡 賢一	株式会社サンフレッチェ広島	白岩 博明	野上 悦生
池尻 英明	株式会社総合広告社	助守田 純也	畠中 守
池田 肇	株式会社ソルコム	砂田 公子	原 延行
石橋 剛	株式会社玉屋	砂脇 誠	飛谷 恭子
一橋 雄	株式会社千鳥	諏訪 善昭	平田 建彦
一般財団法人広島県環境保健協会	株式会社中国新聞社	ダイコーフーズ株式会社	平松 一尚
伊藤 俊夫	株式会社中電工	高柴 正紀	平松 博美
伊東 奉文	株式会社中本本店	高橋 秀行	広島国際空港株式会社
稲葉 直人	株式会社NTTファシリティーズ	高本 友博	広島修道大学79年度生同窓会
井上 薫純	株式会社ハイエレコン	田口 信教	広島修道大学剣道部OB会
今中 達幸	株式会社備広	武居 勝敏	広島修道大学拳法部OB・OG会
岩国修大会	株式会社ヒロタニ	竹島 拓	広島修道大学同窓大会
植木 秀行	株式会社みづま工房	武本 清孝	広島トヨタ自動車株式会社
上田 護	株式会社ミナガネット	鉦前 浩二	広紅商事株式会社
上原 浩二	鴨木 誉	立川 章	廣光 清次郎
宇部修大会	川中醤油株式会社	田中 隆行	福田 武司
大藤 久三子	河原 久雄	田中 博隆	福永 要
大西 龍夫	川本 明人	田中 ミチ彦	藤井 真澄
大橋 康雄	川本 正光	田部 恵子	藤岡 一興
大原 修幸	関西修大会	種田 奈美枝	藤岡 健二
大平 正則	関東修大会	玉繁 隆	藤田 大輔
大森 里美	北浦 彰	玉田 静男	藤田 武士
岡田 貴子	木谷 敏幸	玉村 繁	フジタビルメンテナンス株式会社
岡田 武士	木村 太祐	田村 克泰	藤中 謙惣
岡本 榮一	九州修大会	俵 美将	藤本 英司
岡元 亮	日下 晴雄	丹 久子	藤本 茂
岡山修大会	久保田 昌尚	中部修大会	藤本 直義
小川 博文	蔵本 栄治	辻 竜男	古田 雅久
沖田 進司	小坂 浩志	常広 一信	別府 聖子
奥田 久子	古武 節子	出口 聡	宝田 実
越智 安雄	後藤 勝義	出口 紀子	細田 信行
香川修大会	小林 亮介	寺西 雅孝	北海道修大会
角正 康夫	小淵 三夫	東宝ビル管理株式会社 中国支社	堀越 達也
鹿児島修大会	小山株式会社 広島営業所	東洋熱工業株式会社 中国支店	前川 恒策
梶 勝則	齋藤 哲史	得田 文人	前田 浩二
鹿島建設株式会社 中国支店	齋藤 真	戸谷 紳一郎	政兼 泰子
片平 直行	佐久間 潤二	豊岡 剛	益岡 英幸
金子 友和	志々目 喜美子	中川 浩	松井 寿貢
兼品 直和	品川 賢治	中川 恵夫	松江 由紀
株式会社アースクリエーション	柴田 悟史	長崎修大会	松川 理都子
株式会社御菓子所高木	四水 裕太	中谷 良通	松本 博正
株式会社オカムラ 広島支店	下田 保清	中村 健治	丸本 ありさ

特別寄附（使途特定）		広島修道大学国際交流基金	
広島修道大学同窓会	¥400,000	〈お名前のみ〉奥田 久子	
株式会社アーネスト	¥360,000		
現物寄附		学校法人修道学園教育振興基金	
市原 則之	第23回夏季オリンピック(1984/ロサンゼルス)	株式会社エデュース	¥400,000
公式服装 一式	第26回夏季オリンピック(1996/アトランタ)		
公式服装 一式	第27回夏季オリンピック(2000/シドニー)		
公式服装 一式	第29回夏季オリンピック(2008/北京)		
公式服装 一式	第30回夏季オリンピック(2012/ロンドン)		
公式服装 一式			
修経会			
河津桜 1本			
梅 1本			
テラスホールディングス株式会社*			
防球ネット2台			
コンプレッサー1台			
バレーボール5個			
*テラスホールディングス株式会社様が西日本シティ銀行で発行する地域応援私募債「つなぐココロ」の発行企業となられ、本学を寄附先に指定されました。			
寄附のお願い		広島修道大学寄附金	
		奥田 健志	¥10,000
		山内 格	¥10,000
		〈お名前のみ〉入江 みどり、宮田 秀雄	
		〈匿名〉5名	計¥100,000
		留学生教職員給付奨学金	
		竹井 光子	¥60,000
		宮崎 康子	¥48,000
		住田 敏	¥36,000
		柚木 尚美	¥36,000
		王 瑋	¥12,000
		〈お名前のみ〉James Daniel、藤原 聡子	
		〈匿名〉17名	計¥468,000

寄附のお願い

学校法人修道学園 創始300周年記念新体育館建設事業寄附金



新体育館建設事業寄附金
お申込みはこちら >>>



広島修道大学寄附金

平素より広島修道大学の教育活動にご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。より一層のあたたかいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

広島修道大学寄附金
お申し込みはこちら >>>



2023年度 広島修道大学決算／2024年度 広島修道大学予算

広島修道大学の2023年度決算を公表しました。また、2024年度予算は、中期事業計画、財政計画および予算編成方針に基づき決定しました。詳細は本学WEBサイトでご確認ください。



INFORMATION

刊行物紹介

『アジアのなかの日本 日本の農業集落と経済発展』

【執筆等教員】坂根 嘉弘(商学部) 坂根嘉弘著 清文堂出版 2024年1月 354ページ 10,450円(税込)

途上期の日本経済を対象に、アジア諸地域との比較を念頭に、日本の農業集落と経済発展との関係を、農民組織(徴税制度、農会財政)、産業組合、不正肥料の3つのテーマについて分析したものである。日本農業集落の「家」制度「村」社会が、途上期の経済発展のボトルネックとなるさまざまな課題(契約の不履行、ただ乗り、不正行為等)を抑制したとするのが主旨である。経済史と情報と組織の経済学、契約理論などとの接合を試みている。



『英検分野別ターゲット英検1級リーディング問題 改訂版』

【執筆等教員】阪上 辰也(人文学部) 旺文社編 旺文社 2023年8月 152ページ 2,420円(税込)

本書は、英検1級合格をめざす人のために、リーディング問題の攻略法と練習問題をセットにしたものになっています。加えて、覚えておくといふ単語や模擬テストも付属しています。私が執筆を担当したのは、Chapter 1の「攻略ポイント」です。リーディング問題への取り組み方、語句空所補充問題や内容一致問題を解く際に気をつけておきたいことを解説しています。また、日頃から行うといふ英語学習方法も紹介しています。



『教育用語ハンドブック』

【執筆等教員】西森 章子(人文学部) 古川治, 姫野完治, 西森章子編著 一荏書房 2023年8月 294ページ 2,750円(税込)

本書は、教員採用試験や教育活動上で出てくる教育用語を幅広く収集したうえで厳選し、簡潔にまとめたものです。親は子どもを教え、育てることを通して学び、人として成長します。同様に、教師も子どもを教えながら学び、教師として成長します。本書が「学校の先生になりたい」と考える学生はもちろん、人を育てる「教育職」をめざす学生、教育職に就いている若手など、「学び続け、成長する教師」に役だってほしいと願っています。



『保育者・小学校教員のための教育制度論：この1冊で基礎から学ぶ 新訂第2版』

【執筆等教員】牧瀬 翔麻(人文学部) 内山絵美子, 山田知代, 坂田仰編著 教育開発研究所 2023年12月 200ページ 2,090円(税込)

毎年、大学の教育制度論の初回講義で日本国憲法第26条のクイズを出すと、多くの学生は、国民に「教育を受ける義務」があると誤答します。講義ではその後、「教育を受ける権利」にかかり外国籍の子どもの教育や不登校児童生徒の法制度上の位置づけを解説します。本書は、子どもの権利を保障する教育制度の視点から、学校制度や教育行政制度、教員制度等を解説したものです。教育制度改革の時代だからこそ、いま立ち止まって考える内容の一冊となっています。



『マイナンバーカードの「利活用」と自治：主権者置き去りの「マイナ保険証」「市民カード」化』

【執筆等教員】門脇 美恵(法学部) 稲葉一将 [ほか] 著 自治体研究社 2023年12月 138ページ 1,430円(税込)

本書は、マイナンバーカードの普及を強力に推進する国家政策について、その現状を地域の実務担当者と研究者が共同して、実務と理論の両面から分析・検討します。例えば、現行保険証廃止が決定されてもなお、「マイナ保険証」の利用率は低調で、保険医の反対は強く、地方議会からも反対の意見書が提出されているのは何故なのか。今改めて、私たち一人ひとりが生活者としてマイナンバーカードの問題を考える必要があるように思います。



『アジア人物史 第5巻 モンゴル帝国のユーラシア統一』

【執筆等教員】宇野 伸浩(国際コミュニティ学部) 小松久男他著 集英社 2023年10月 736ページ 4,400円(税込)

チンギス・カンについての研究書・小説・映画等は、モンゴル語の『元朝秘史』にもとづくのが普通ですが、その信憑性が疑問視されていました。そこで、より信憑性の高いペルシア語の『集史』をできるだけ使って書いたのが、この本のチンギス・カン伝です。その実像は、単に勇猛な武将ではなく、組織のリーダーとしての人望と才能があり、商業を重視し、世界に目を向けた人物でした。1195年からわずか11年でモンゴル帝国を建国します。



『平和学事典』

【執筆等教員】佐渡 紀子(国際コミュニティ学部) 日本平和学会編 丸善出版 2023年6月 778ページ 26,400円(税込)

日本平和学会によって編纂された「読む」辞典です。本書では、276項目もの平和をめぐる論点や事象について、専門家による解説が1項目につき見開き2ページで掲載されています。戦争と和解、安全保障と抑止、戦争責任と補償、抑圧と分断といった論点に加え、平和の実現に向けた行動や平和をめぐる新たな価値観についても取り上げられます。本書は、「読む」ことで、「知る」だけでなく「考える」ことにつながっていく事典です。



EVENT

教育懇談会

教育懇談会では、教職員による個人面談を行い、成績や学生生活について保証人からの相談や要望に対応しています。

開催日	開催地	会場	本校の教育懇談会について (内容、時間などは予定)	時間	内容
9/14(土)	本学	広島修道大学		10:00~11:10	会長・学長挨拶、学生体験談等
9/21(土)	松山	ホテルマイステイズ松山		11:20~13:10	学部別説明会/昼食会
9/28(土)	松江	ホテル一畑		13:20~15:00	個人面談
10/5(土)	岡山	アークホテル岡山			
10/12(土)	山口	山口グランドホテル	本校以外の教育懇談会について	11:00~12:00	説明会
10/26(土)	福山	福山ニューキャッスルホテル		12:10~12:55 12:55~14:15	昼食会 個人面談

入試説明会・オープンキャンパス

オープンキャンパスを本学にて、下記の日程で開催します。

無料送迎バス有

駐車場有

受験生・保護者対象
入試説明会

6/23(日)

オープンキャンパス

7/20(土)・7/21(日)・8/25(日)

Culture Jam

文化局のサークル、団体が発表するイベント「Culture Jam」を6/29(土)・30(日) 本学にて開催します。

アンケートにご協力ください

「広報誌TRUTH」や「本学の広報活動」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。
また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。
<https://ws.formzu.net/dist/S29069890/>



抽選で20名様に
「修大オリジナルフリクションボールペン4色」をプレゼント!

応募締切:9月10日(火)

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



表紙写真のご紹介 表紙撮影場所:図書館

2003年竣工。ゆとりある設計の館内は全面ガラス張りで明るく心地よい空間となっています。図書約91万冊、雑誌約11,000タイトル、視聴覚資料約24,000点を所蔵しており、蔵書数は中国地方の私立大学で1位*を誇ります。また、2004年には中国・四国地方大学の図書館で唯一「日本図書館協会建築賞」を受賞しています。

*公益財団法人 日本図書館協会発行『日本の図書館 統計と名簿2023』より